

みなさんこんばんは

世界一幸せな講演家、古市佳央と申します。
今日は人生最後のスピーチだとそんな気持ちでお話しさせていただきたいと思
います。
と言っても別に死ぬ訳ではありませんけど。

僕は今、世界で一番幸せな男として生きています。
でも、世界で一番不幸だと思って、生きていた時期がとっても長かったんです
ね。

それは、16歳の時にバイクで交通事故を起こして、全身が火だるまになって
41パーセントに大火傷を負いました。

顔も手も焼けただれ、指先は溶けてなくなる場所もありました。そして、何よ
りも辛かったのは
「もう元には戻りません」と宣告をされた時でした。

自分で初めて鏡を見たときに愕然としました。目の前にいる自分は、自分ではあ
りませんでした。
鏡に映るその男は焼けただれ、無残な姿でした。

その顔を見た時に現実を受け入れられなくて泣き崩れました。

「なんで生き残ったって、お前何してんだって」本当に心から死にたいと思いま
した。

そして、そこから33回の手術を経験して、3年間の入院生活を経て社会に出ま
す。
社会に出たら、また辛い大きな壁が前に立ちふさがりました。

世間の冷たい視線でした。

ジロジロジロジロ見られる。小学生は僕のことを指差して「あのお兄ちゃんの変だよ」って笑う。

電車に乗ればジロジロ見る大人たち、ひそひそ話をする高校生。
なんて冷たいんだこの世の中はって、絶望を感じる。

そして、そのときです。僕は世界で一番不幸な男だなんて思っていたんですね。

でも、今は世界で一番幸せな男としてここに立っています。

なぜ僕は幸せになれたのか、今日その方法を
教えません。

嘘です。

実は18年前に僕は人生の転機を迎えます。
かづきれいこさんと言う人と出会います。
かづきさんはメイクの先生でした。
火傷の跡やあざがある人をメイクでカバーするという人です。

その人に出会って僕は、この世の中が差別と偏見で満ちている、この世の中を優しい世の中にしたいんだってこととお話しをしたんです。

そうしたら、かづきさん僕にこう言ったんです。
『古市君、あなたね講演しなさい』って言ったんです。

「こうえんってなんですか？代々木公園のことですか？」
「まさか、人の前に立って話すってことじゃないですよ？いやー、無理無理だ
って僕にとって人の前に立つということは一番辛いことなんです。」

たくさんの偏見を受けてきた。だから嫌ですと断りました。

かづきさんこう言いました

『さらけ出す勇気を持ちなさい』って

何言っているか全然わからない。

でもわかりました

断わるのが嫌だから僕は人の前に立ちました。

その、講演を始めたことが僕の人生を変えて行きます。

講演をするとたくさんの感想が寄せられてきました。

古市さん、生きる勇気をもらいました。

古市さんありがとう、ありがとう、ありがとう。

そして、僕自分のこと当時大嫌いです。

その大嫌いな僕を抱きしめてくれる人がいる。

古市さん、そのままで大丈夫だよ。

古市さん、そのままで素敵だよって、愛してくれる人がいた。

たくさんの微笑みかけてくれる人がいた。

なんて優しいんだろうって

そんな思いを経験しながら2年経った時

小学校に講演に行った時に、子供達が質問をしてきました。

「古市さん、タイムマシンがあったら事故の前に戻りたいですか？」という質問でした。

僕はどきっとしたんです。

そして、一番簡単な答えのはずでした。

当たり前じゃん

って

事故をしたことをあれだけ後悔して、どれだけ泣いたかわからない。だから戻りたい
でも、その言葉が出てこない
なんで出てこない

僕は2年間を思い返していました。

そして、子供達にこう答えました。

「僕は今、自分のことが大好きです。今本当に幸せです
だから、タイムマシンがあっても戻りません。」

そう、子供達に答えていました。

僕はたくさんの人に今のありのままの自分をゆっくり認められ

その積み重ねの結果、僕は自分のことが好きになり、幸せだと思えるようになっていたのです。

あれだけの最悪だった状況から幸せになれた。
認める力ってすごい
人を認める力は凄いなってことを伝えたいと思いました。

皆さんにお願いがあります。
是非、人を認めてあげてください。
その、ありのままを受け入れてあげて欲しいのです。
受け入れて欲しい人がたくさんいるんです。
そして、なかなか抱きしめてあげることは難しいと思うんです。簡単に人の事を認める方法があります。
それは何か？
笑顔です。人に微笑みかけるとい事です。
それぐらいだったらできないでしょうか？

そして、微笑みかけられた人はものすごい素敵な気持ちになります。

そして、笑顔の力がどれくらいすごいのか
僕のところにこんな人が来ました。

『古市さん、私ね、死のうと思って死ぬ日も死に場所も決めたの。そしてそこに向かっ行ってたらコンビニエンスストアが最後にあったから、そこに寄ったんだ。人生最後のお買い物しようと思った。そしてレジでお金を払うときに女子高生らしき店員さんがとっても優しい笑顔でね接客をしてくれたんだ。こう言ってくれたの「どうもありがとうございます。またいらして下さい」ニコって笑ってくれたのって。その時心がぽっと温かくなった。そして、その日死ぬことをやめて帰ったんだ』
って、そう報告をしてくれました。

僕はこの話を聞いて「すごい話ですね」って
「あなたを救ったのはたった1つの笑顔なんですね」って
笑顔の力はそれくらいすごい、人の命が救われるくらいすごいんです！もしかしたら皆さんが誰かに微笑みかけたその笑顔が、
もしかしたら誰かの命を救っているかもしれせん。皆さんが微笑みかけた笑顔が、誰かの心に灯を灯しているかも知れせん。
それくらい笑顔の力はすごいのです。

そして、なぜ僕がこんなに認めてくださいってことをお願いしているか？それはこの世の中はみんな家族だからです。

なぜ家族なのか？

僕は8年前に大きな病気をしました。

c型肝炎になりました。

その、C型肝炎になった時にあることを思い出したんです。

それは何か？

大量の輸血をしたことです。

僕の輸血の量は33回の手術をした時の輸血の量は自分の血液をはるかに超えるものでした。

そして献血をしてくれた人の人数、何百人分なのです。

その人が僕に命をくれたんです。

そして、僕は当時日本で一番幸せと思って生きてた。でも違った。僕は頑張って生きて来たと思った。

たくさんの人に助けられて、たくさんの人に愛をいただいて僕は生かされてたんだ！そこに気づいたとき鳥肌が立って感謝の気持ちが溢れて来て、誰にお礼を言おうって

言えないんですよ、献血をしてくれた人が探せないから。そこで思ったんです。全ての人を家族だと思おうって、もしかしたら僕の命の恩人とすれ違っているかもしれない。

僕も人間だから好き嫌いがある。その嫌いだと思っている人がもしかしたら僕の命の恩人だったら、そう思ったらゾッとしました。

僕は命の恩人に対して嫌な感情を持ってしまっているかもしれない。

その人の家族がそうかもしれない。そんな自分は最低だって思ったんです。だから家族だと思おうって思いました。

皆さんはどうでしょうか？

もしみなさんがすれ違う人、目の前にいる人が皆さんの命を救う人ではないと言い切れるでしょうか？

言い切れないと思います。

人は誰かに助けてもらい生きている生き物なんです

そして、いまこの世の中は助けてほしい人だらけなんです。

皆さんは微笑みかけることで人を救うことができます。そして世界を変えることができます。

そして、僕たちは過去に戦争がありましたよね日本でもその戦争で戦病した兵士たちがたくさんの輸血をされて、生き残ったということを知りました。たくさんの輸血で生き残ったその先祖の命が受け継いで僕たちが今ここに生きて、いまこの豊かな日本を生きています。

でもその兵士を救ってくれた人達は、血を分けてくれた人達なんです。そうやって人は助け合って生きています。そういう大きな気持ちになることが必要ではないか。僕たちは1つの大きな家族を生きています。

ワンファミリー

この言葉を僕はこれから広めていきたいと思っています。今世の中にはたくさんの問題があります。自殺、鬱、差別、偏見、たくさんの人が苦しんでいます。

でも、皆さんがそれを救ってあげるその1人になることができます。それが微笑みかけるだけなんです。その笑顔を多くの方に向けてあげてもらえないでしょうか？そしてそれが巡り巡っていつか自分の所に、自分の家族に帰ってくるのではないのでしょうか。そんな温かい社会をつくっておけば安心ですよ、悩んだ時も。そんな世界をつくって行きたいと僕は思っています。今日本当にここに立ててとても嬉しく思います。鴨さんがこの企画をしてくださって本当に嬉しいです。ヒロキングさん本当にありがとうございます！そして多くのここに集まってくれた皆さん。本当にありがとうございます。僕はこれからも命ある限りこの世の中を温かい心にするために世界を変えるために伝え続けていきたいと思っています。そして、僕は皆さんのことを家族だと思っています。だから大好きです。皆さん

を愛しています。今日はどうもありがとうございました。